EAST-ASIAN LIB. UNIVERSITY OF TORONTO
3 1761 03023 3597

南傳大藏經總索引

第一部　上巻

水野弘元著

日本学術振興会発行

BL
1411
T8J3
1935
Index
pt. 1
v. 1

LIBRARY
MAY 17 1966
UNIVERSITY OF TORONTO

1076334

は し が き

高楠順次郎博士の仏教学界における功績を記念して，高楠博士功績記念会が設立され，その事業として南伝パーリ語の一切経が国訳刊行されるようになつたのは，博士の大事業としての漢訳一切経の出版である大正新修大蔵経一百巻の尨大な刊行が終了して間もない頃であつた。それ以前に，先ず博士の知友門弟の人々約三十人によつて，長部34経の国訳が博士に献呈され，次に本生経を，それからその他のパーリ聖典類を，日本の印度学仏教学の多くの学者によつて，分担翻訳することになつた。そして愈々出版の運びとなつたのは，昭和10年4月からであり，その後毎月1冊宛出され，70ヶ月を要して，昭和16年2月に，南伝大蔵経65巻70冊として完成するに至つた。

この中には，巻末に掲げる70冊の内容表によつて知られる如く，パーリ語の経律論の三蔵聖典だけでなく，蔵外の重要な経典，史書，教理綱要書等が含まれていて，それは原始仏教の教理学説や教団の状態を始めとする古代印度の地理，歴史，風俗，習慣等の文化一般の研究に対する多くの貴重な資料を提供する一大宝庫をなしている。これだけのパーリ文献が一つの国語に訳出されているのは他の諸外国に全くその例を見ない所である。尤もこの南伝大蔵経に含まれていないで，かなりに重要なパーリ文献が英訳等にせられているものもあるが，南伝大蔵経の中には，他国語に全く翻訳のないものも含まれている。

とにかくこれだけ大部のパーリ文献が満6年足らずで出版されたことは驚嘆に値する所であるが，その翻訳者は，各冊の巻末の附記によつても知られる如く，全体で51人に及んでいる。このように多くの人が銘々に翻訳をなしたために，その訳語もまちまちで，そこに全体的な統一は見られない。例えば同一原語に対する訳語が数種のものは珍らしくなく，中には十数種の異つた訳語がなされているものもある。しかも毎月1冊の刊行を励行したために，多少の拙速主義も免れず，厳密な意味では，誤訳，拙訳，脱漏等がないとは云えない。然したとい多少の欠陥はあるとしても，パーリ原文で読むことを思えば，これが学界や仏教界にどれだけ大きな便益を与えているか知れない。

ところで南伝大蔵経の各巻末にはその巻の索隠（索引）が掲げられている。然しその索引は各翻訳者の傾向や都合によつて別個に作られて，繁簡常なく，全体を通じて統一したものがない。多くの資料を提供する書冊に，十分な索引がない程不便なことはない。宝の山に対して手を拱いていなければならない状態である。南伝大蔵経は正にそれであつた。この不便は心ある人達には誰にでも痛感される所であつたが，大蔵出版社でもこれに気付き，従来多少その翻訳にも関係していた著者に対し，出版社側から南伝大蔵経総索引作製の依頼があつた。

統一ある総索引の必要を強く感じていた著者は，進んでこの仕事を引受け，南伝大蔵経刊行の終了した前後から，それに没頭した。この場合，従来の索隠とは全く無関係に，著者自身の計画に従つて，独自にカードを作製した。最初から1頁に何枚のカードを取るということをせず，著者が必要と思う事項をチェックして行つた。従つて恐らく項目の選び方は多分に著者の主観に左右されているであろうし，又後から見れば，或は更に詳しくカードを取つた方がよかつたかも知れないが，とにかく全体では70冊3万余頁から30万枚程のカードを取つた。カードの作製には，当時駒沢大学の学部学生であつた横井雄峰，古崎天栄の二君にもずつと手伝つて貰い，後には大蔵出版社で編輯や翻訳をなし，パーリ語にも堪能であつた金森西俊氏にも助力を仰いだ。

この作製に著手したのが昭和16年の初頭であり，やがて太平洋戦争に入り，昭和18年春から秋へかけては，駒大の二君も卒業又は仮卒業で応召になつたが，18年末頃までには全体のカードが揃つた

ので，その後は著者一人でその整理に当つた。このようにして昭和20年の初め頃には，一応最後的に整理されたカード約5万枚が整理箱に収まつた。その後，本郷の大蔵出版社は戦災を受けて焼失したが，私宅に置いていたカードは幸い被害を免れた。それにしても，既に戦災を蒙り，以前の事業を停止した大蔵出版社は出版の能力もなく，さればとて何等の経済的利益にもならない尨大な索引を出してくれる所も他になく，カードは久しく筐底に眠るのみであつた。

文部省の学術図書刊行補助も，数年に亘る尨大なものは，その便宜がなかつたが，昭和33年度から大型刊行補助がなされるようになり，その候補の一つとして，南伝大蔵経総索引も選ばれるようになつた。これは宮本正尊博士，辻直四郎博士や，文部省の向井事務官等の熱心なお骨折によるものであつた。採用が決定されると，カードのままの資料を，更に戦後の漢字カナ遣いに従つて，アイウエオ順にカード排列を改めた上，これを浄書して印刷に廻すことになつたが，これにも東大の大学院や学部の学生達の手を煩わすことになつた。

出版は日本学術振興会に依頼することになり，カードの整理から清書，校正等に至るまで一貫して手伝つてくれたのは筆者の三男，慶応大学在学中の清三郎君であり，東大梵文研究室助手の前田恵学君には，第三校を見て頂いた。なお曹洞宗宗務庁からは本書の校正等の費用として，補助を頂いたことを最後に感謝附記したい。このようにして，本書が世に出るようになつたのは，十数年来のいろいろな方面からの合力の賜であつて，これら諸方面に対して甚大の謝意を捧げたい。

後から顧みれば，あちこちに不足や粗漏が発見されるけれども，これを徹底的に改めるとすれば，新規にやり直すことになるのであるから，それらの欠点にも眼を覆うて，敢えてそのままとして置くことにした。若しこの索引が少しでも世の中に役立つとすれば，それは直接間接に援助して頂いた方方のお蔭であり，若し組織内容等に欠陥があるとすれば，それは著者一人の責任にあるのである。幸いに大方の叱正を賜らんことを。

昭和34年3月15日　　　　著　者　識

附記　本書は総索引第I部の前半で，今後第I部後半と第II部とが刊行されることになつている。

凡　　　例

1. 本総索引は，日本語項目の索引（第Ⅰ部）と，パーリ語項目の索引（第Ⅱ部）とから成る。日本語項目は南伝大蔵經中の固有名詞（地名，人名，寺院名，書名，経典名等）及び普通名詞（仏教術語，数目，動植物，事件等）を掲げたものである。第Ⅱ部は第Ⅰ部を裏返したものであつて，第Ⅰ部の補助又は索引の役目をなし，兼ねてパーリ語の辞書的性格をもつ。
1. 第Ⅰ部では，日本語項目をアイウエオ順に排列し，同じ発音の漢字では，字画の少いものから多いものの順に，同字画の場合には，大体漢和辞典における列挙の順序に従つた。
1. 漢字の発音は，音と訓とがあり，音には漢音，呉音があり，訓にも本来の発音と音便等による読みくせがあつて，同一漢字でもそれらの種々な発音の場所に正確に出す必要があるけれども，今は必ずしも厳密を期せず，漢音呉音の別も便宜に定めて伝統に従わなかつた場合もある。発音の紛らわしい項目は二ケ所に出したり，一方で他方の発音を指示したりした。
1. 各項目には，パーリ原本からパーリ原語を挿入した。同一項目でも，原語が多少相違するもの，又は全く他の原語からの訳語の場合，或は原語は同じでも，それが指す人物や地名，経名等が異る場合には，同一項目内で①②③等をもつて区別した。また類似の訳語が幾つかあつて，それが同一原語からの場合にも①②等を附して，同一項目に纏めた場合もある。
1. パーリ原語は，固有名詞は頭を大文字とし，これは章節等の名称にも用いた。それ以外のものは大文字を用いていない。その綴字は，経名等にあつては原典にある形を大体その通りに掲げ，その他は単語の場合は語基（stem）の形で示し，文章の場合は原文の通りを出し，複合語や句節の場合は，その中に具格，属格等の格形を含むものは，全体を主格形をもつて示した。唯だ格形や連続体（gerund）を含んでいても，単一語のような複合詞をなしている場合には，語基形で出した。然しこれも必ずしも厳密に一定しているとは限らない。
1. 各項目の原語の次に（　　）に挿入した語は，この原語に対して，南伝大蔵経中に，この項目名以外の訳語が使用されている例を示したものであり，それらは別の場所に独立の項目として掲げられているものである。
1. 次に〔　〕で示したものは，その項目の簡単な説明である。その説明語には略字を用いた場合もある。略字表は次の如し。

   女……女子，婦人　天……神，天神　比……比丘　月……年月の月　仙……仙人　外……外道，外学　尼……比丘尼　夷……優婆夷，信女　邑……町村　果……果物，果実　城……城市，都城　婆……婆羅門　動……動物　族……種族　塞……優婆塞，信士　植……植物　渡……渡し場　傳……伝説　園……園林　殿……殿堂　經……経典　辟……辟支仏，縁覚　廟……塔廟　樹……樹木　醫……医者
1. 尚お〔　〕によつて，その項目内の特徴や事柄を示した場合もある。
1. 本生物語の場合は（　）の中に漢字の数字を入れ，本生物語の番号を示した。
1. 項目の中にある＝，→，～等の符号の中，＝は同一であること，→は事項が矢印に移行すること，～は参照を意味する。
1. 項目の最後にあるアラビア数字の中，ゴシック字は南伝大蔵経の巻数を示し，普通数字はその頁数を示す。頁数の右肩にある＊は，その項目がその頁以下続いて出ていることを示し，右肩の°は，その頁の所にその項目の重要な説明があるか，又は経や物語の本題がそこにあることを示すなお数字を〔　〕で囲つた場合は，他の訳語による同一内容のことが，そこに出ていることを示す
1. 項目が最初から〔　　〕で囲つてあるのは，直接南伝大蔵経にその訳語はないが，〔　〕に囲んだような重要な事柄や教理等がそこにあることを示したものである。

Digitized by the Internet Archive
in 2011 with funding from
University of Toronto

http://www.archive.org/details/p1nandendaizokyo01mizu

①オシ ②ワル ③カラス ④ラン ⑤セイ ⑥ソウ ⑦シヤク,セキ ⑧ギヨウ ⑨ウワ,ジヨウ ⑩シユウ ⑪ワル ⑫ホウ ⑬カイ,ケ ⑭キヨ ⑮マ ⑯ソク,タル ⑰ロ ⑱ミ ⑲オ,コ,シヨウ ⑳ヨ ㉑ズ,トウ ㉒シン ㉓コウ ㉔ゴ,コウ,ノチ ㉕ク ㉖コウ ㉗キヨウ,ケイ ㉘イエ,カ,ケ ㉙ユ ㉚シ ㉛コウ ㉜モウ ㉝ウ ㉞ビユウ ㉟セン ㊱ヨ ㊲ソ ㊳ソウ ㊴ギ ㊵コウ ㊶ギヨウ,コウ,ユク ㊷ヤス ㊸カカシ ㊹ヤミ

①スデニ　②セイ　③エ　④エキ　⑤ナス　⑥コシマキ　⑦オチ　⑧アヒル，カ，ケ　⑨バツ　⑩フン　⑪ド　⑫シン　⑬ニヨ　⑭コク，セキ　⑮セン　⑯カ，ナニ　⑰キユウ　⑱ハン　⑲ヒト　⑳ム　㉑タ，デン　㉒コ，フル　㉓ケン　㉔ク　㉕トウ　㉖ブタ　㉗ミヨウ，メイ　㉘キヨク　㉙ミ　㉚ニユウ　㉛シキ　㉜ガン　㉝ガン　㉞ヒキ　㉟オン，カゲ　㊱ノミ　㊲オン，カクレル

①ユウ　②アメ　③カラス　④スグレ，ヤサシ，ユウ　⑤チチ，ニユウ　⑥ギヨ　⑦フ　⑧ジユ　⑨ドウ
⑩ト　⑪ギユウ，ゴ　⑫ジユン　⑬ダン　⑭ダ　⑮ビ　⑯ワン　⑰ダツ　⑱バ　⑲シヨウ，セイ，ナマ
⑳カイ　㉑ノウ　㉒エン，オン　㉓シツ　㉔レイ　㉕シユウ　㉖アガリ，ジヨウ　㉗クモ

①イ　②カイ　③ケイ　④カイ　⑤ジ　⑥コワス　⑦カイ　⑧カイ　⑨トク　⑩カゲ　⑪スルドキ　⑫イ
⑬ジ　⑭シ　⑮ウラミ，オン　⑯ケムリ　⑰フチ　⑱サル　⑲ケムリ　⑳フチ　㉑ナガエ　㉒シオ

①アズキ，コ，シヨウ　②ケガレ　③ハク　④カキ　⑤シユク　⑥ワ　⑦ユウ　⑧チヨ　⑨ロウ　⑩ダイ　⑪ヨコ　⑫カメ　⑬クツガエレル，フク　⑭タ　⑮ハン　⑯ゾウ　⑰ヨウ　⑱ア　⑲ア　⑳キヨウ　㉑スイ　㉒ナ　㉓キヨウ　㉔ラク　㉕イ　㉖フ　㉗デ　㉘ダン，ナン　㉙レツ　㉚キ　㉛コ　㉜ジユウ　㉝シタシム，シン　㉞ボン　㉟シヨク　㊱グ　㊲ウラミ，エン　㊳トオイ　㊴イン，カゲ　㊵イン，カクレル　㊶ジヨ，ニヨ，メ

①シ ②ゲ，シタ ③ヒ ④イズレ，ナニ ⑤クダモノ ⑥ケ，ハナ ⑦ナツ ⑧アヒル，イエ，ケ ⑨ケ
⑩ニ ⑪ケ，ハナ ⑫ヨメ ⑬スギ ⑭ワザワイ ⑮クルブシ ⑯タン ⑰ナベ ⑱キバ ⑲ワレ ⑳フス
㉑ハイ ㉒バイ ㉓アクタ，ケ ㉔エ ㉕ウミ ㉖エ ㉗ゲ，トク ㉘エ ㉙エ ㉚ゲ ㉛セキ

㉜ マチ　㉝ フタ　㉞ サン,ソラマメ　㉟ ゲン　㊱ アン　㊲ ショウ　㊳ キョウ　㊴ オ　㊵ コウ　㊶ ケン　㊷ スモウ,ツノ　㊸ ホトトギス　㊹ シ　㊺ タシカ　㊻ タノシ,ラク　㊼ ワニ　㊽ ワニ　㊾ イン,オン　㊿ ト　(51) ケ　(52) イン,オン　(53) エイ　(54) ヨウ　(55) ロウ　(56) サン　(57) フウ　(58) ヘン　(59) ケン　(60) ギョウ,ケイ　(61) トウ　(62) ゴ　(63) ケ　(64) ケイ　(65) ショウ,スグレ　(66) サソリ　(67) ゴウ　(68) ショウ　(69) ヘキ　(70) ナ,ナン,ミナミ

⑪ シン　⑫ ハツ　⑬ テイ　⑭ ヘイ　⑮ キ　⑯ オウ　⑰ キ, ハタ　⑱ ウ　⑲ ア　⑳ シヤク　㉑ キヨウ, ケイ
㉒ ヒ　㉓ コ　㉔ セン　㉕ ヒ　㉖ ケン　㉗ ソク　㉘ セン　㉙ マツタキ　㉚ ハコ　㉛ ヌキ　㉜ ケン
㉝ タユ, タン　㉞ ミキ　㉟ ケン　㊱ ヨロコブ　㊲ ミ　㊳ ゲン, モト

[99] イワ　[100] ゲン，マツゲ，メ　[101] イワオ

① ボク，ムクロジ，モク ② クワダテ ③ ケ ④ タツ ⑤ オニ ⑥ スツ ⑦ ヨロコバシ ⑧ トオトシ ⑨ ソシル ⑩ ハタ ⑪ カメ ⑫ カラクリ，ハタ ⑬ ジユ ⑭ ニセ ⑮ アリ ⑯ クルミ，コ ⑰ シヨウ ⑱ ホク ⑲ クル，ライ ⑳ コ ㉑ ケン ㉒ ガ ㉓ サカ ㉔ ク ㉕ ユミ

㉖ グ，モトム　㉗ ク　㉘ イソギ　㉙ ク　㉚ スクウ　㉛ タマ　㉜ ウシ，ゴ　㉝ サル　㉞ コ　㉟ コ　㊱ ノコギリ　㊲ アゲル　㊳ ウオ　㊴ アニ，ケイ　㊵ グ　㊶ オソロシ　㊷ ムネ　㊸ オシエ　㊹ フクロウ　㊺ ゴウ　㊻ ケイ　㊼ カルイ，ケイ　㊽ コウ　㊾ ホオ　㊿ カガミ　(51) コウ　(52) アン，コウ，ユク　(53) カタチ，ケイ　(54) ゴウ　(55) アカツキ　(56) マガリ　(57) ゴク　(58) イバラ　(59) タマ　(60) ジョウ

⑹ セツ　⑹ スイ　⑹ ケ　⑹ セツ　⑹ コノ，ゴン，チカキ　⑹ コン　⑹ スジ　⑹ ゴン

① キユウ ② コウ ③ コウ ④ アナ ⑤ キユウ ⑥ コウ ⑦ イヌ ⑧ キユウ ⑨ ハト ⑩ キユウ, モトメル ⑪ トモ ⑫ コウ ⑬ オロカ ⑭ ジキ, シヨク ⑮ キヨウ ⑯ ケイ ⑰ ソウ ⑱ サ ⑲ ヤク ⑳ カ ㉑ コウ ㉒ ハキ, リ ㉓ オオイ, フク ㉔ コク ㉕ シユ ㉖ ケイ ㉗ ウン ㉘ キタル, ライ ㉙ カ ㉚ シヤ ㉛ キウリ, コ ㉜ コク ㉝ シン ㉞ キ

① モウ ② キ, ギリシヤ ③ アクタ, カイ ④ カ, ハナ ⑤ アヒル, イエ, カ ⑥ カ ⑦ カ, ハナ ⑧ カケ ⑨ カ, シタ ⑩ ガイ ⑪ カイ, トク ⑫ アニ, キヨウ ⑬ カタチ, ギヨウ ⑭ スネ ⑮ クキ ⑯ カツ ⑰ エ ⑱ キヨウ ⑲ カルイ, キヨウ ⑳ クビ ㉑ ホタル ㉒ ニワトリ ㉓ ツガル ㉔ オ ㉕ ハゲシ ㉖ チ ㉗ ユイ ㉘ ツキ ㉙ エン ㉚ エン ㉛ イヌ ㉜ ミ ㉝ カタ ㉞ コン ㉟ コブシ ㊱ カワク, カン

[illegible] ㊸ コト, ゴン　㊹ ガン, マツゲ, メ
[illegible]

① オノレ ② アズキ, オ, シヨウ ③ シ・ジ ④ ト ⑤ イニシエ, フル ⑥ シユウトメ ⑦ キヨ ⑧ トラ ⑨ キツネ ⑩ カレル ⑪ モト ⑫ キウリ, クルミ ⑬ ミズウミ ⑭ キヨ ⑮ ツヅミ ⑯ ウシ, ギユウ ⑰ アト, ノチ ⑱ カタル ⑲ ク, クチ ⑳ ク ㉑ ギヨウ ㉒ マジワリ ㉓ ヒカリ ㉔ アン, ギヨウ, ユク ㉕ サラ ㉖ アナ ㉗ サイワイ ㉘ ク ㉙ アト, ノチ ㉚ グ ㉛ タカ ㉜ アレ ㉝ タガヤス

㉞ カギ　㉟ アブラ　㊱ ヒロ　㊲ ニカワ　㊳ キョウ　㊴ ヌカ　㊵ ワラ　㊶ アツモノ　㊷ ガツ　㊸ ツネ
㊹ キョウ　㊺ ギョウ　㊻ トク　㊼ イシ, セキ　㊽ クニ　㊾ クロ　㊿ キョク　(51) イ　(52) ホネ　(53) ゲン　(54) ジ
(55) モト　(56) フン　(57) シ　(58) キン, チカキ　(59) セツ　(60) ケン　(61) ベイ　(62) シ　(63) サツ, セツ　(64) エ　(65) キン
(66) ケン　(67) ネ

⑱ キン，チカキ　⑲ ゲン　⑳ キン　㉑ ゲン　㉒ ケン

① ナス　② シヤ, スナ　③ シヤ　④ クサリ　⑤ スワル　⑥ フタタビ　⑦ セイ, ニシ　⑧ ツマ　⑨ マツリ
⑩ モツトモ　⑪ セイ　⑫ ツミ　⑬ コウ　⑭ ギヤク　⑮ ナス　⑯ スウ　⑰ シユ　⑱ ダイ　⑲ シ　⑳ シ, ユビ
㉑ カツ　㉒ コロシ, セツ　㉓ ゾウ　㉔ ビン　㉕ ソウ　㉖ コウ　㉗ キヨ　㉘ エン　㉙ ミツ　㉚ ヤギ, ヤマ

㉛ カサ　㉜ ホム　㉝ カイコ, ソラマメ　㉞ ノコリ

①コ ②ヨ ③コノ, コレ ④ツカイ ⑤サシ ⑥エダ ⑦サシ, ユビ ⑧アブラ ⑨カ, カク ⑩ハ ⑪ミズカラ ⑫テラ ⑬ニ, ミミ ⑭エセ ⑮コト ⑯モチ ⑰トキ, ホトトギス ⑱エ ⑲エン ⑳ロク ㉑イロ ㉒フ ㉓チヨク ㉔クウ ㉕カ, ゲ ㉖ゼツ

㉗ オヤ　㉘ ナナ　㉙ ネタミ　㉚ ウルシ　㉛ ヒザ　㉜ サ　㉝ クルマ　㉞ サ，スナ　㉟ ステ　㊱ アカ，セキ
㊲ カリ　㊳ [illegible]　㊴ タ，テ　㊵ クビ　㊶ サケ　㊷ ハレ　㊸ タネ　㊹ ウケ　㊺ キ

㊻ ソウ　㊼ アキ　㊽ ウレイ　㊾ ワシ　㊿ スム, トドマル　(51) オモ　(52) ニユウ, ヤワラカ　(53) モミ　(54) コ　(55) オ
(56) スイ, デ　(57) ハル　(58) ウズラ　(59) ハジメ　(60) オンナ, ニヨ, メ　(61) アズキ, オ, コ　(62) マス　(63) セイ, タダシ
(64) ウマレ, セイ, ナマ　(65) トコ, ユカ　(66) セイ　(67) タイマツ　(68) マス　(69) ワライ

⑰ セイ ⑪ ソウ ⑫ カツ,スグレ ⑬ キズ ⑭ セイ ⑮ カカト ⑯ ヤク ⑰ セイ ⑱ カネ ⑲ セツ ⑳ アガリ,ウワ ㉑ セイ ㉒ シエ ㉓ テイ ㉔ ノリ ㉕ キヨシ ㉖ ツネ ㉗ バ ㉘ セイ ㉙ ナワ ㉚ クウ ㉛ オリ ㉜ チ ㉝ タイ ㉞ ハク,ビヤク ㉟ ミ ㊱ クロセツブンソウ ㊲ マ ㊳ カミ

(99) ハリ (100) フカ (101) モリ (102) アタラシ (103) ネ (104) イカリ (105) オヤ (106) タキギ (107) ニン，ヒト (108) チリ

南傳大藏經總索引

昭和34年3月23日　印刷
昭和34年3月30日　発行

著　者　水野弘元

発行所　日本学術振興会
東京都台東区上野公園日本学術会議内
代表者　新谷武衛

印刷所　株式会社　新興社印刷部
代表者　町田忠昭
東京都新宿区西五軒町32

発売所　丸善株式会社
東京都中央区日本橋通2ノ6

定価　￥1,600

BL
1411
T8J3
1935
Index
pt.1
v.1

Tripiṭakā. Japanese. 1935.
(Indexes)
Nanden Daizōkyō sōsakuin

East
Asiatic
Studies

PLEASE DO NOT REMOVE
CARDS OR SLIPS FROM THIS POCKET

UNIVERSITY OF TORONTO LIBRARY